

授業科目名	家 族 看 護			担当教員	大重 育美	
開講年次	2 年後期	セメスター	4		時間数(単位数)	15 (1)
必修選択	選択	授業形態	講義		使用教室	
授業の目的	「家族看護とは何か」という視点を持ちつつ、家族を単位とした看護のアプローチ方法と、さまざまな健康問題やライフステージの対象者の家族について学ぶ。					
到達目標	1. 看護学における家族の考え方を理解できる。 2. 健康問題が家族に与える影響を理解できる。 3. 事例を通して、家族を支援するためのアセスメントの方法を理解できる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	家族への支援は、様々なライフサイクル、健康ニーズ、提供場面にまたがる重要な看護活動である。そのため、様々な状況下で必要な「人間の尊厳と権利を擁護する力」を身に着ける。また各看護学領域の横断するため積極的な学習によって視点が広がり適切な看護の提供につながる。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
	◎		○			
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)		取組時間	担当者
1	家族看護学とは	講義	テキスト P2 ～ 22 までを事前に予習		60 分	大重
2	家族看護の対象理解	講義	ワークシートの作成（自らの家族から考える）発表 テキスト P24-44 までを事前に予習		60 分	大重
3	家族を理解するための諸理論	講義	テキスト P86 ～ 116 までを事前に予習		60 分	大重
4	家族看護過程と実践	講義	テキスト P118 ～ 163 の事例を事前に熟読する（予習）		60 分	大重
5	家族看護と多職種連携	演習	テキスト P164 ～ 186 までを事前に予習		60 分	大重
6	事例を通じた家族アセスメントとアプローチの検討 グループディスカッション (GW)	演習	(予習) ワークシートの作成、グループディスカッション		60 分	大重

7	事例を通した家族アセスメントとアプローチの検討 グループディスカッション (GW)	演習	(予習) ワークシートの作成、グループディスカッション	60 分	大重
8	事例を通した家族アセスメントとアプローチの検討、全体討議、プレゼンテーション（発表）	演習	(復習) 講評、フィードバック	60 分	大重
先行履修科目					
テキスト		上別府圭子編集：家族看護学 系統看護学講座 別巻 医学書院			
参考文献		必要時、資料を配布する。			
評価方法		課題・プレゼンテーション 50%、筆記試験 50%			
教員等の実務経験		小児看護領域だけでなく多様な領域で患者および家族ケアの臨床経験をもつ教員が、その経験を活かして、家族看護活動について講義します。			
メッセージ		定型的な家族の枠組みにとらわれず、多様な家族のあり方を考える機会とします。家族を理解するには、まず自分の家族体験を振り返り、家族のイメージを描きます。そのため、一方的な講義形式ではなく、毎回課題シートを用いて思考する時間を設けます。最終的には、いくつかの事例を用いて少人数グループ単位で家族アセスメントを行い、プレゼンテーションの発表会を行い、講評まで学生主体で行います。			